

第1 淵博株式会社設立、『在日本』大阪事務所開き

(2016年5月27日) (『がんばったで! 45年』208頁・209頁)

3. 祝! 淵博株式会社設立、祝! 『在日本』大阪事務所開き (2016年5/27) (事務所だより第27号・2016年盛夏号より)

1) 日本のさまざまな事象を表現し、中国人に啓蒙するための中国語の雑誌『在日本』が3月に創刊号を出版。5月には第2号が、7月には日本語版が出版。8月には上海のブックフェアでイベントが行われる。

2) 神戸国際大学の毛丹青教授の第1期生で、2015年3月の卒業後、当事務所の就労ビザで働いていた李淵博くんは、昨年12月当事務所を離れ、上海で新たに立ち上げた会社のCEOに就任した。『在日本』は、毛さんたちがこれまで5年間やってきた『知日』とは異なる視点で、中国の留学生の目から日本のさまざまな姿を紹介するものだ。

3) その最大のスポンサーは博報堂だが、これまで毛さんの取材を続けてきたNHK、毎日放送、読売新聞、アジア太平洋センター等々も関心を示し、取材と支援を続けている。さらに李くんは今年3月新たに淵博株式会社を立ち上げて、従来の人文知識・国際業務ビザから、新たに経営・管理ビザを取得。会社の本店として、私の事務所があるコートビル2階(約30坪)の賃貸借契約も締結し、登記手続も完了した。

4) 5月27日にはコートビル2階に各界の支援者たちを中心に、神戸国際大学と神戸市外国語大学の留学生たち計約30名が集まり、盛大な「祝! 淵博株式会社設立」「祝! 『在日本』大阪事務所開き」を開催した。毛さんの司会、私の乾杯の音頭で始まったパーティーの出席者からは、次々と『在日本』との関わり、今後の『在日本』への強い期待が語られた。



5) 何事もチンタラと会議を重ねる日本式と違い、中国式はとにかく早い。毛丹青方式はさらに早い。中国語版と日本語版『在日本』の大ブレイクと、若き李淵博CEO、そして淵博株式会社の大躍進を期待したい。

